

「たまこどもフェス 2024」の開催結果について（報告）

市内の幼稚園、認可保育所、認証保育所をはじめ、市内の子ども関連団体が一堂に会して「たまこどもフェス 2024」を令和6年8月25日（日）に開催しました。



遊びや体験を通して、多摩市の質の高い子育て環境をPRすることを目的とした初めてのイベントであり、当日は子育て世帯で大盛況となりました。

約1万人の子育て世帯が来場し、子どもには思いきり遊んでもらい、保護者には子育てや幼稚園・保育所選びの参考にしてもらうことで、「子育てするなら多摩市」を実感していただきましたので、当日の様子を報告します。



① 永山公民館エリア

永山公民館エリアでは、幼稚園・保育所の紹介や、園のおやつを試食、遊びを紹介し、「どこの園にいこうかな？」と迷っている保護者の相談に各園の先生が応えました。

また、「子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」の周知のほか、若者から募集した川柳等の展示や、ダンボール工作等を行い子どもたちが思い切り楽しみました。



② 永山北公園エリア

永山北公園エリアでは、ウォータースライダーやウォーターガンバトル等水を使った遊びで子どもたちは楽しく遊びました。また、消防団による放水体験やポンプ車乗車体験等、普段できない体験をすることができ子どもも保護者も大満足でした。



③ グリナード広場エリア

グリナード広場エリアでは、多摩大学や中央大学など近隣4大学によるお仕事体験ゲーム等、こどもの視点に立った企画で参画イベントを盛り上げました。

また、グリナード夏まつりも同時開催されました。



④ 来場者した保護者から寄せられた声

「たまこどもフェス 2024」来場した保護者の方からいただいた声を一部紹介します。

- 「子どもに関わるすべてのプロ集団によるイベント！という感じでとても素敵でした。多摩市が子育てに力を入れているのが伝わりましたし、他市に住む友達も羨ましがっていました。今後もぜひとも子ども、そして何よりママパパたちのためにこのフェスを続けてほしいと思います。」
- 「多摩市に住んで4年くらいだが、引っ越してきてよかった。大きな公園や公民館全部でお祭りなど、地域の人たちが沢山協力していて、子どもたちに優しくありがたいなと思っています。これからも子育て世帯に優しい多摩市でいてください！」